

江別市行政評価外部評価委員会における外部評価の視点

外部評価の視点 ～平成 27 年 2 月 本委員会結果報告より～

- ①市の資料・説明は丁寧で分かりやすいか
⇒市民に対して分かりやすい評価表となっているかを確認する。
- ②対象・意図・手段のつながりは適切か
⇒成果を出すための対象・意図・手段の論理的なつながりが正しいか確認する。
- ③成果指標の変動要因や事業の課題の把握ができているか
⇒指標値の増減の理由や事業の課題が的確に把握されているかを確認する。
- ④戦略プロジェクト等の方向を示す指標は適切か
⇒政策や戦略等のめざす姿を適切に示す指標が設定されているか確認する。

外部評価の  ポイント

- ◆「対象」「手段」「意図」のつながりが適切な説明となっているか
⇒「誰」に対して「何をする」と「どのような状態」になるのかの説明が適切か
- ◆「対象」「手段」「意図」のそれぞれが、適切な指標設定となっているか
⇒「対象 = 対象指標」、「手段 = 活動指標」、「意図 = 成果指標」それぞれを数値にて定量的に把握できる設定になっているか、また、設定された指標が「えべつ未来戦略」構成事業として、事業の成果が戦略の推進につながる設定となっているか
- ◆事業開始背景と事業を取り巻く環境変化が適切に記載されているか
⇒なぜ、この事業が必要となったのかという事業開始の背景と、事業に影響を及ぼすような社会情勢や環境の変化の記載が分かりやすく説明されているか
- ◆事業の実績を担当課にて適切に評価・分析した内容が記載されているか
⇒担当課評価にて、事業の成果動向から現状を的確に把握し、事業の実績から状況分析が行われているか、また、将来的な成果向上の余地（のびしろ）がどの程度あるのかを適切に示しているか
- ◆評価表の記載内容が、市民にとって分かりやすい説明がされているか
⇒評価表の記載内容が、担当課本意の内容になっており、専門用語を使っているなどの分かりにくい表現になっていないか